

授 業 科 目	運動学実習		
教 育 内 容	専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	
担 当 教 員	塩田 琴美		
学 年	2	単 位 数	1
開 講 時 期	前期	時 間 数	実習 45 時間

■ 授 業 概 要

関節可動域検査（Range of Motion Test:ROM-T）および徒手筋力検査（Manual Muscle Testing:MMT）の検査に必要な解剖学・運動学的視点を理解しながら、検査測定の手順に従い実習を行う。

■ 到 達 目 標

- 1) ROM-T と MMT について説明できる
- 2) ROM-T と MMT の評価の目的や留意点を理解し、各評価の実施と評価結果を解釈できる。

■ 授 業 内 容

第 1-2 回	ガイダンス、ROM-T の概要
第 3-4 回	肩関節・肩甲帯の ROM-T
第 5-6 回	肘関節・手関節・手指の ROM-T
第 7-8 回	股関節・膝関節 ROM-T
第 9-10 回	足関節・足指の ROM-T
第 11-12 回	頸部・体幹の ROM-T、ケーススタディ
第 13-14 回	徒手筋力検査の測定方法、上肢筋の MMT
第 15-16 回	上肢筋の MMT
第 17-18 回	下肢筋の MMT
第 19-20 回	下肢筋の MMT
第 21-22 回	頸部・体幹の MMT
第 23-24 回	ケーススタディ、筆記試験・実技試験・試験問題解説

■ 評 価 方 法

試験と平常点での評価を総合して行う。平常点は実習に対する姿勢・態度を評価対象とする。
試験 90%，平常点 10%

■ 教 科 書

「新・徒手筋力検査法（第9版）」L.Daniels/C.Worthingham 著（共同医書出版社）
その他、必要に応じて資料を配布する。

■ 留 意 事 項 ・ そ の 他